

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学Ⅳ		演習・講義	坂東 恵美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
以下の項目について知り、各項目の神経学的機序についても理解する。 1. 反射検査、2. 筋緊張検査、3. 協調運動機能検査、4. バランス検査				
授業の到達目標				
・各検査の意義が説明できる。・それぞれの検査の方法を理解し、実施できる。・それぞれの検査の結果を記録することができる。・反射のメカニズムや反射異常の病態とメカニズムについて説明できる。・筋緊張異常の病態とメカニズムについて説明できる。・協調運動機能、またその検査について説明できる。・平衡機能とそのメカニズム、またその検査について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	講義オリエンテーション 反射検査① 反射の神経学的機序について			
2	反射検査② 反射検査概要 腱反射実技			
3	反射検査③ 腱反射実技			
4	反射検査④ 表在反射、病的反射			
5	反射検査⑤ 反射まとめ（実技復習）			
6	筋緊張検査① 筋緊張の神経学的機序について 筋緊張検査概要			
7	筋緊張検査② 筋緊張検査実技			
8	筋緊張検査③ 筋緊張検査実技、姿勢筋緊張について			
9	協調運動機能検査① 協調運動とは 協調運動機能検査とは 協調機能検査に必要な基礎知識			
10	協調運動機能検査② 四肢に対する検査実技			
11	実技試験：反射検査			
12	協調運動機能検査③ 体幹機能などを含む協調運動機能検査実技			
13	バランス検査① バランスとは バランスの基礎知識			
14	バランス検査② バランス検査の実際 1			
15	バランス検査③ バランス検査の実際 2 まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	筆記試験7割、実技試験3割。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
ベッドサイドの神経の診かた	田崎義明 他		南山堂	
標準理学療法学専門分野 理学療法評価学 第3版	内山靖 他		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				